

AEON



第47期
株主通信

2017年3月1日



2018年2月28日

 株式会社ジフット

証券コード：2686

		2015/2 (第2四半期)	2015/2 (期末)	2016/2 (第2四半期)	2016/2 (期末)	2017/2 (第2四半期)	2017/2 (期末)	2018/2 (第2四半期)	2018/2 (期末)
売上高	(単位:百万円)	54,038	103,467	53,777	103,933	54,405	102,224	51,339	97,282
営業利益	(単位:百万円)	2,745	5,507	3,196	5,515	3,334	5,005	1,487	2,238
経常利益	(単位:百万円)	2,750	5,465	3,192	5,473	3,349	5,027	1,499	2,279
当期(四半期)純利益	(単位:百万円)	1,569	2,801	1,678	2,814	1,837	2,680	630	751
1株当たり 当期(四半期)純利益	(単位:円)	37.69	67.24	40.28	67.17	43.22	63.03	14.82	17.67
1株当たり 純資産額(BPS)	(単位:円)	477.78	505.54	542.81	565.76	593.52	607.29	613.74	608.72
総資産	(単位:百万円)	57,710	58,007	55,670	58,246	60,295	58,509	60,464	60,463
純資産	(単位:百万円)	19,903	21,059	22,611	24,056	25,257	25,843	26,127	25,913
自己資本当期純利益率 (ROE)	(単位:%)	—	14.2	—	12.5	—	10.7	—	2.9

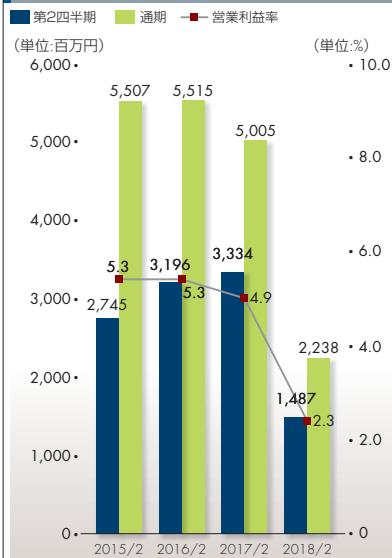
業績予想

		2018/2 (実績)	2019/2 (予想)	増減率 (%)
売上高	(単位:百万円)	97,282	97,500	0.2
営業利益	(単位:百万円)	2,238	2,700	20.6
経常利益	(単位:百万円)	2,279	2,700	18.4
当期純利益	(単位:百万円)	751	900	19.8

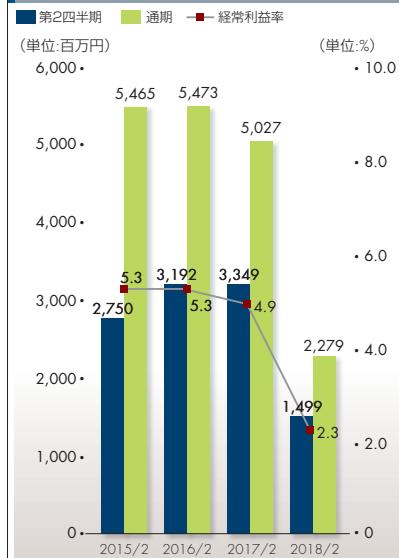
売上高



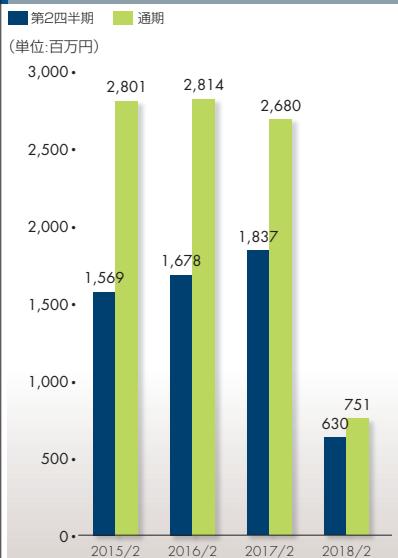
営業利益 / 営業利益率



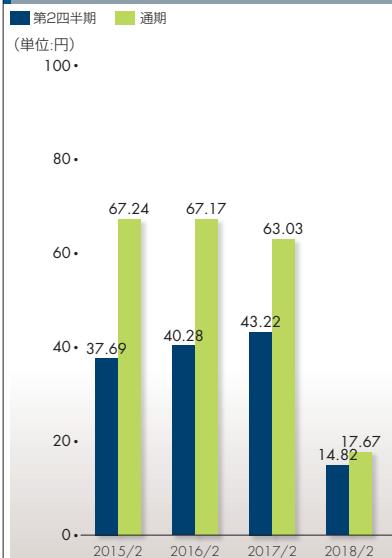
経常利益 / 経常利益率



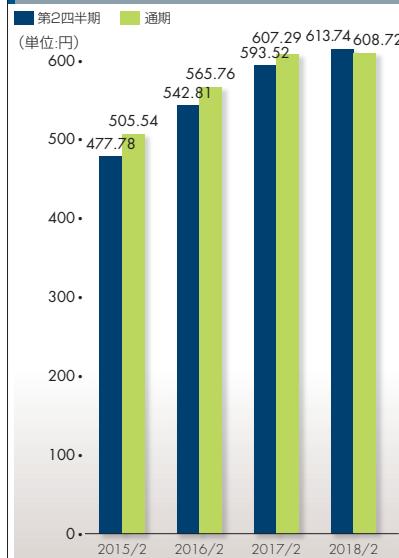
当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり純資産額(BPS)





代表取締役社長

堀江 泰文

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業年度における靴小売業界は、他業種からの靴小売事業への参入やEコマースの急成長により消費チャネルがより多様化し、競争激化とともに経営環境は厳しさを増しております。

このような環境に対応すべく当社は、「商品の改革」「売場の改革」「人の改革」の3つの改革を軸とした経営戦略を進めてまいりました。

しかしながら、最重点施策である「商品の改革」については、既に着手し具体的成果も現れつつも、MDプロセスの改革が遅れ、従来型のMDを踏襲した結果、在庫の過剰を招き、お客さまの価値観の変化(カジュアル化、ノンシーズン化、機能価値本位)への対応が不十分となり、シーズン商品依存度の高い婦人靴、カジュアル化の流れが最も顕著になっている紳士靴において売上高が減少いたしました。スポーツ靴においても第3四半期以降、市場トレンドの変化への対応の遅れから、売価変更(値下げ)が拡大し売上総利益率の低下を招くとともに、ファッションスニーカーの分野を中心に商品開発が不足し、売上減少トレンド

に陥りました。

減少トレンドであった客数においては、プチプライス、グッドプライスなどの新価格体系を強化したことで、回復へ一定の成果が得られました。また、下期からスタートしたウエルネスライトインソール搭載の機能商品は好調に推移し、苦戦していた婦人靴については順調に売上回復を果たしました。

一方で、前述のお客さまの価値観の変化に対する対応が、機能インソール搭載商品の拡充など限定的分野に限られたこと、商品開発・売場展開が実質的に遅れたことなどの影響により、客単価がダウンし既存店売上が大きく下振れする結果を招きました。

売上総利益率につきましては、PB商品の開発・提案・広告宣伝が不足したことでPB売上構成比が27.7%（前期比4.2ポイント減）へと減少したため、売上総利益率は47.2%（同0.6ポイント減）となりました。

出退店につきましては、アスピーイオンモール松本店など37店舗を出店し、一方で不採算店舗を中心に27店舗を退店し、これらにより当事業年度末店舗数は890店舗となりました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高972億82百万円（前期比4.8%減）、営業利益22億38百万円（同55.3%減）、経常利益22億79百万円（同54.6%減）、当期純利益は業績低迷を主要因とした減損損失など特別損失を7億9百万円計上しており、7億51百万円（同72.0%減）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年5月

商号	株式会社ジーフット (英訳名 GFOOT CO.,LTD.)
設立	1971年10月
資本金	37億50百万円
従業員数	1,436名 (他、フレックス社員4,069名)
本社	東京都中央区新川一丁目23番5号
事業内容	紳士靴、婦人靴、スポーツ靴及びインポート雑貨の販売
店舗数	890店舗

役員 (2018年5月18日現在)

代表取締役社長	堀 江 泰	文 洋
常務取締役	三 津 井	二 史
取締役	丹 下 浩	樹 司
取締役	小 塚 博	善 覚
取締役	守 一 善	正 宣
取締役	高 田 覚	光 靖
取締役	木 村 正	昭 久
取締役 (社外)	七 尾 宣	弘 二
取締役 (社外)	柴 田 昭	正 弘
常勤監査役 (社外)	荒 川 正	宏 亮
監査役 (社外)	布 施 弘	滋 雄
監査役 (社外)	下 山	
監査役 (社外)	竹 越	
監査役 (社外)	越 山 滋	

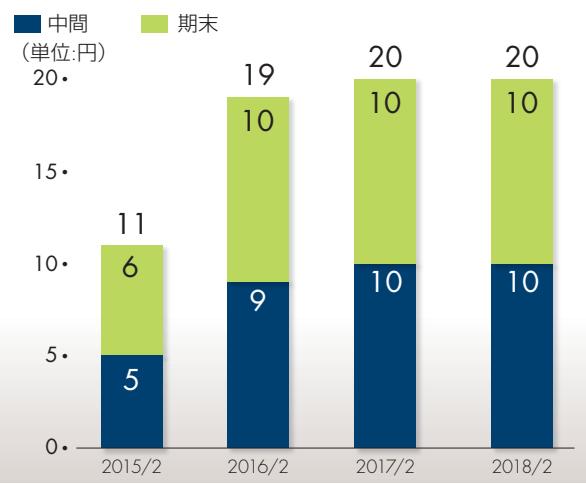
■利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要施策と位置付け、株主の皆さまへの適正な利益配分を実施するとともに、事業拡大や生産性向上を実現するための内部留保資金の確保を行い、企業競争力を高めることを基本方針としております。

具体的には、配当性向は30%以上、金額は前事業年度以上を目標としております。

2019年2月期の配当金につきましては、1株当たり中間配当金10円、期末配当金10円とし、年間配当金20円を予定しております。

1株当たりの配当金の推移



■ 貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第47期 2018年2月28日現在
資産の部	
流動資産	44,885
固定資産	15,577
有形固定資産	4,908
無形固定資産	307
投資その他の資産	10,361
資産合計	60,463
負債の部	
流動負債	31,502
固定負債	3,047
負債合計	34,549
純資産の部	
株主資本	24,802
資本金	3,750
資本剰余金	3,581
利益剰余金	17,474
自己株式	△ 4
評価・換算差額等	1,083
新株予約権	27
純資産合計	25,913
負債及び純資産合計	60,463

決算のポイント

① 資産

総資産は、前事業年度末に比べ19億53百万円（前期比3.3%）増加して604億63百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ13億98百万円（同3.2%）増加して448億85百万円となりました。これは主に、出店による店舗数を拡大したことによる商品の増加16億67百万円によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ5億54百万円（同3.7%）増加して155億77百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加2億29百万円、関係会社長期貸付金の増加4億円によるものであります。

② 負債

負債は、前事業年度末に比べ18億83百万円（前期比5.8%）増加して345億49百万円となりました。これは主に支払手形の減少17億18百万円、電子記録債務の増加103億32百万円、買掛金の減少76億42百万円、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加18億28百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べ69百万円（前期比0.3%）増加して259億13百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加1億59百万円によるものであります。以上の結果、自己資本比率は42.8%となりました。

④ 売上高

売上高は972億82百万円（前期比4.8%減）となりました。

⑤ 営業利益

営業利益は22億38百万円（前期比55.3%減）となり、売上高営業利益率は2.3%となりました。

⑥ 経常利益

経常利益は22億79百万円（前期比54.6%減）となり、売上高経常利益率は2.3%となりました。

⑦ 当期純利益

当期純利益は7億51百万円（前期比72.0%減）となり、売上高当期純利益率は0.8%となりました。

■ 損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第47期
	2017年3月1日から 2018年2月28日まで
売上高	97,282
売上原価	51,316
売上総利益	45,965
販売費及び一般管理費	43,726
営業利益	2,238
営業外収益	81
営業外費用	40
経常利益	2,279
特別利益	—
特別損失	709
税引前当期純利益	1,570
法人税、住民税及び事業税	900
法人税等調整額	△80
法人税等合計	819
当期純利益	751

■ キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第47期
	2017年3月1日から 2018年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	983
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	967
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△192
現金及び現金同等物の期首残高	1,525
現金及び現金同等物の期末残高	1,332

■ 株主資本等変動計算書 第47期 (2017年3月1日から 2018年2月28日まで)

(単位:百万円)

科目	株主資本							評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			その他 有価証券 評価差額金	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		その他 利益剰余金 別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計						
当期首残高	3,749	3,579	3,579	191	5,019	12,363	17,573	△4	24,898	923	923	21	25,843
当期変動額													
新株の発行 (新株予約権の行使)	1	1	1						3				3
剰余金の配当						△850	△850		△850				△850
当期純利益						751	751		751				751
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										159	159	6	165
当期変動額合計	1	1	1	—	—	△99	△99	—	△95	159	159	6	69
当期末残高	3,750	3,581	3,581	191	5,019	12,263	17,474	△4	24,802	1,083	1,083	27	25,913

■店舗一覧

全国 890店

<地域別>

北海道	64店
東北	101店
関東	241店
中部	178店
近畿	150店
中国・四国	59店
九州・沖縄	97店

<業態別>

	179店
	431店
	178店
	60店
	12店
その他	30店

<店舗LED照明導入による省エネへの取り組み>

経済産業省 資源エネルギー庁より省エネ法に基づく「事業者クラス分け評価制度」において、2015年度より継続して省エネ優良事業者Sクラス評価を取得しております。

■業態紹介



ASBEE

オリジナルブランドのリーやマッドフッドから人気ブランドの最新モデルまで、ファッションとライフスタイルを提案するフットウエアのスペシャリティショップです。



Shoes Greenbox

デイリーユースを意識した低価格商品から高品質なシューズまでを豊富にラインナップ。お客さまの暮らしをバックアップする地域密着型のフットウエアショップです。

■新子会社紹介 株式会社プレステージシューズ



Trading Post

トレーディングポストは、レザーシューズを履く文化を日本に定着させ、時代と共に進化する革製品の今を積極的にご紹介する提案型セレクトショップです。

※2017年5月1日に子会社となる株式会社プレステージシューズを承継。



Feminine Café

“スイート&キュート”をテーマにしたオリジナルシューズとの出会いを楽しむことができるカフェテイストのレディースシューズショップです。

トピックス >>> 環境・社会貢献活動

社会貢献活動



「学校法人 ねむの木学園」の生徒の皆さまへ足型計測と靴の支援活動の実施。

東北復興支援



「イオン心をつなぐプロジェクト」への参加。

植樹活動



ヤンゴン（ミャンマー）での植樹に参加。

PB商品紹介



Keds

コンセプトは「アメリカンクラシックカジュアルスニーカー」。1916年ブランド設立からカジュアルスタイルにコーディネートできるスニーカーを提案し続ける老舗ブランドです。



Lee

1911年にアメリカで始まったLee。ファッションデニムの代表ブランドとして日本に根付いたLeeは、きれいなカジュアルスタイルにマッチするブランドとして、幅広い層から支持を集めています。

ウエルネスライト (機能インソール)

心地いい靴、
選びやすくなりました。

Wellness Light

「履き心地を重視して靴を選びたい」
という、お客様の声に応え、
株式会社ジャストは快適さの基準をクリアした
インソールに認定マークを導入しました。

しっかりアシスト
履き心地が快適な履き心地を
実現するためのアシスト
機能を搭載しています。

やさしくフィット
履き心地が快適な履き心地を
実現するためのアシスト
機能を搭載しています。

ダブルサポート
履き心地が快適な履き心地を
実現するためのアシスト
機能を搭載しています。

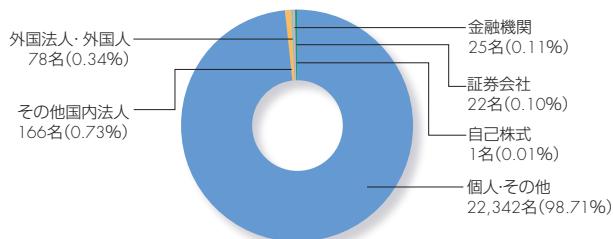
心地いい靴、選びやすくなりました。「履き心地を重視して靴を選びたい」という、お客様の声にお応えして、快適さの基準をクリアしたインソールに認定マークを導入しました。

- 発行可能株式総数 144,000,000 株
- 発行済株式の総数 42,538,000 株
(自己株式12,284株を含む)
- 単元株式数 100 株
- 株主数 22,634 名
- 上位10名の株主

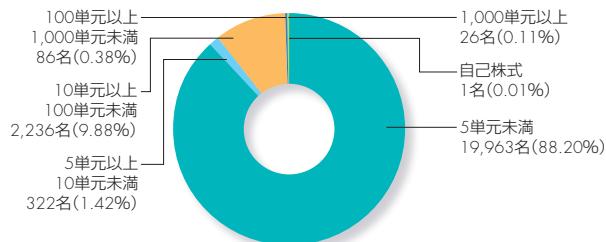
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
イオン株式会社	25,825,620	60.72
有限会社高田	900,000	2.11
イオンフィナンシャルサービス株式会社	670,000	1.57
イオンモール株式会社	520,000	1.22
ジーフット社員持株会	506,660	1.19
ミニストップ株式会社	450,000	1.05
マックスバリュ西日本株式会社	375,000	0.88
服部健志	351,640	0.82
株式会社コックス	336,000	0.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	333,700	0.78

(注)持株比率は自己株式(12,284株)を控除して計算しております。

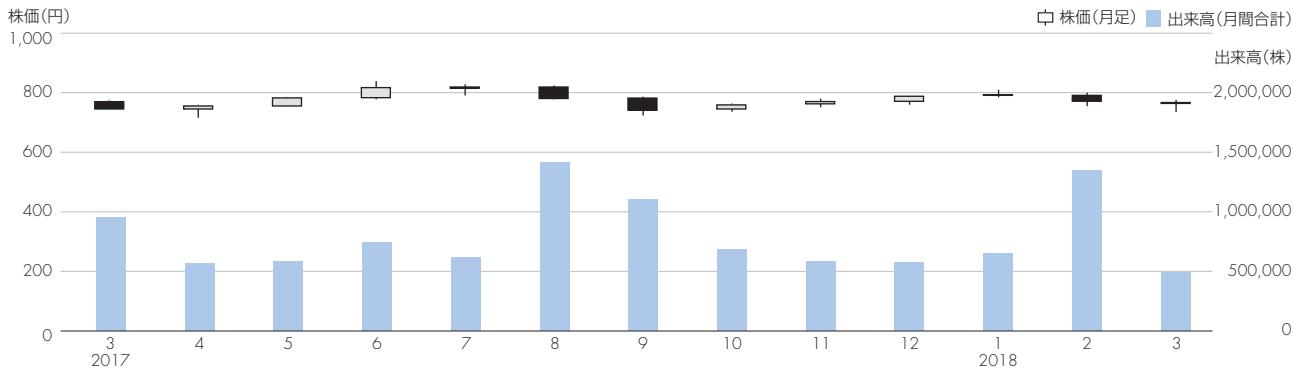
●所有者別株主数



●所有単元別株主数



●株価及び出来高の推移



■ G-FOOTのFUN+WALK

まいにちに「歩く」を足して、ハッピーになろう。

健康のためにいい、とわかっていても、ただ歩くだけではつまらない。
 そう思っているあなたも、歩くことの先にワクワクすることが待っていたら、
 歩くこと自体が、もっともっと楽しくなるはず。
 だからはじめます、「FUN+WALK PROJECT」。



**FUN
+
WALK**
PROJECT

スニーカーはもちろん、革靴やパンプスにも、
 歩きやすく履れにくい工夫がいろいろ。
 あなたの通勤スタイルにぴったりのシューズで、
 今日からひと駅先まで歩きますか。
 スタイルにも足にもフィットする一足で

**いつもより
プラス10分
歩こう!**





オフィスサポート
OFFICE SUPPORT を履いて
 はじめよう、FUN+WALK!





もっと歩きやすい靴で
通勤しませんか?
OFFICE SUPPORT のパンプスは
クッション性と柔軟性が抜群、
足にフィットし、履れにくい、
いつもより10分多く歩き、
もっと快適に通勤して
仕事の効率アップに
つなげちゃいましょう、

OFFICE SUPPORT × FUN+WALK!

FUN+WALK PROJECTは、歩くことをもっと楽しく、楽しいことをもっと健康的なものにするスポーツ庁の官民連携プロジェクトです。
 「歩く」を入口に、国民の健康増進を目指しています。

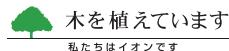


株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	
定時株主総会	毎年5月	
基準日	定時株主総会の議決権	2月末日
	期末配当金	2月末日
	中間配当金	8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
各種お問合せ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 フリーダイヤル 0120-782-031 (代表)	
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 (アドレス) http://www.g-foot.co.jp/koukoku.html	
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部及び 名古屋証券取引所市場第一部	
単元株式数	100株	



本社 東京都中央区新川一丁目23番5号



株主優待制度のお知らせ

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に登録された100株以上所有の株主さまに対し株主優待券を贈呈。

所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	株主優待券1,000円 (1,000円券1枚)
1,000株以上 2,000株未満	株主優待券5,000円 (1,000円券5枚)
2,000株以上	株主優待券10,000円 (1,000円券10枚)



ホームページも
ご覧下さい。



<http://www.g-foot.co.jp/>

